

ノジマが日立 GLS が設立する家電事業の新会社の株式を取得一直ちに格付に影響せず、今後の業績・財務への影響を注視

以下は、株式会社ノジマ（証券コード：7419）の日立グローバルライフソリューションズ株式会社（日立 GLS）が設立する新会社の株式取得についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は4月21日に、日立 GLS が設立し家電事業を承継させる新会社の株式を、当社が管理する特別目的会社にて80.1%取得し、子会社化する予定であると公表した。株式譲渡実行日は27/3期中を予定しており、株式の取得予定価額は1,101億円となる見通しである。本件により、当社および日立グループの強みを融合させて、商品開発からアフターサービスまでを一体で展開する独自のビジネスモデルの構築を進めていく方針である。
- (2) 新会社の資産・負債や業績見通しなどが不明であるが、本件は当社にとって過去最大規模の買収となり、一定の財務負担がかかるものとみられる。ただ、JCRでは、当社の業績は堅調に推移していること、利益蓄積に伴い自己資本の増加が進んでいること、手元流動性に一定の余裕があることなどを踏まえ、現時点で当社の格付を直ちに見直す必要はないと判断している。今後、本株式取得後の事業運営、業績・財務面への影響などを注視していく。

(担当) 大塚 浩芳・三浦 麻理子

【参考】

発行体：株式会社ノジマ

長期発行体格付：A

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル